

産 業 建 設 常 任 委 員 会 報 告 書

会 議 日 時	令和元年 1 1 月 2 6 日 (火) 午前 6 時 3 0 分 ～ 午後 6 時			
会 議 場 所	○議員控室 ○委員会室 ○議会図書室 ◎現地 (場所：徳島県那賀町)			
出 席 者 数	委員 5 名のうち出席者 4 名			
出 席 委 員	委 員 長	榎野 章	副委員長	武田 秀義
	委 員	味元 和義	委 員	林 健三
欠 席 委 員	委 員	橋本 章央		
事 務 局	局 長	長谷部 卓也		
出 席 者	企 画 課	総括主幹 坂本 仁	企 画 課	主 事 森 文哉
	大正地域振興課	副 課 長 北村 耕助	四万十町ドローン協議会	会 員 森下 克彦
	四万十高校	教員 3 名	窪 川 高 校	教員 2 名
説 明 者	徳島県那賀町	まち・ひと・しごと戦略課 主事補 田和 隼人		
付 議 事 件	県外視察研修 (徳島県那賀町)			
	「日本一ドローンが飛ぶ町を目指して」那賀町のドローンに関する活動視察研修			
審 査 ・ 調 査	現地到着後、1 0 時 4 5 分より那賀町峯田副町長の歓迎の言葉をいただき、那賀町			
	地域交流センターにてドローンを活用した取り組みについて研修を受ける。			
	那賀町は、面積の 9 5 %が森林で、ドローンに 3 D レーザースキャナーを取り付け			
	防災分野での実証実験を行い、災害に強いまちづくりをしている。			
	また本格的にドローンでの物流実証試験も行うとの事である。本町でも、台風等			
	災害時活用を検討すべきと感じた。那賀町では、職員の 1 5 名が資格を取得している			
	との事で、日本一ドローンが飛ぶ町を目指している意気込みが感じられた。ドローン			
	の資格取得には、助成はしていないが、5 回程度の講習会は無料で行っているとの事			
	である。ドローン活用の成果か分からないが、町内中学校 3 校への県外からの生徒が			
	増えていると言っていた。町内の高校は 1 校であるが生徒数が約 2 0 0 名いると伺っ			
	た。那賀町でドローンを飛ばせる場所をマップにしているが、年間の利用者数は 5 0			
	件 1 0 0 人程度である。ドローンが高価な面もあるが、交流人口増加に寄与している			
	事は間違いない。また、国土調査にはドローンは認められていないので無理だと伺う。			
報 告 日	議会は通年議会、完全ペーパーレス化、本会議・委員会すべてケーブルテレビ・イン			
	ターネットで放送しているとの事。			
	午後より、ドローンフィールドでドローンを飛ばしてもらい、研修を受ける。			
報 告 日	令和元年 1 1 月 2 9 日 (金)	委員長署名	榎野 章	